国保料（税）試算システム操作を体験

保険料（税）適正算定マニュアル研修会

平成２５年１０月３０日、本会において保険料（税）適正算定マニュアル研修会を保険者に向けて行った。保険料（税）適正算定マニュアルは国民健康保険中央会と厚生労働省が共同で開発した、市町村の保険料（税）の試算を可能としたシステムであり、本研修会はシステムの理解と利用の促進を目的として実施した。開催にあたり、中央会より担当職員を迎えて説明を行った。

本会保健事業課大橋課長の挨拶後、算定マニュアルの概要・機能について説明を行った。算定マニュアルの特長として被保険者の基礎データがあれば、通常のパソコンで手軽に試算できるものであると紹介した。

続いて、算定マニュアルの操作について、参加者にはパソコンで実際に試算を行ってもらった。参加保険者中、算定マニュアルを活用しているのは１保険者のみであったが、その他の保険者からも入力に際して困惑した様子はなかった。

最後に、試算結果の帳票について活用事例を紹介した。所得階級ごとに見られる負担状況や被保険者数などについて、賦課施策の判断とするポイントの説明を行った。